

中区では、外国人住民と日本人住民が共により良く暮らすために、行政情報や暮らしのルール、社会の制度など生活に役立つ情報を多言語広報紙として中国語と英語でお伝えしています。

中区役所多言語広報紙

英語版

中国語版



日本語が分からなくても

一歩踏み出すということ

日本語が分からない。家族しか話し相手がいなくて、孤独を感じる。そんな悩みを抱えている人は少なくありません。新しい環境で積極的に行動することはなかなか難しいけれど、一歩踏み出すことで悩みを克服した人たちが中区にはたくさんいます。勇気を持って一歩踏み出した人たちがどのような場所を活用したのかを紹介します。

はじめの一歩「日本語教室」

来日して日が浅くても参加しやすいのが日本語教室。中区には多くの日本語教室があります。開催日時や授業料はさまざまですが、参加者が口をそろえて言うのは、話し相手ができ、居場所が見つかったということ。同じような境遇の人に出会える場所にもなっています。

なか国際交流ラウンジ日本語教室にお邪魔しました！

中区役所別館「なか国際交流ラウンジ」で開催している日本語教室は、年に2度の生徒募集があり、授業は週に2回。この日も習熟度別のグループに分かれて和気あいあいと授業がすすめられていました。



房艶さん (来日4年目)

＼ 生徒に聞いてみました！ ／

あなたにとっての日本語教室とは？

国際結婚をして来日した2人。

初めのうちは子育てに手一杯で、すぐには参加に至らなかったとのことですが、一歩踏み出し日本語教室に参加したそうです。



董琴さん (来日1年目)

Q 日本語教室に参加したきっかけは？

A ママ友に噂を聞いたことがきっかけ。日本語が分からなくても何とかなりましたが、子どものことやこれからのことも考えて参加しました。ここの教室は、子どものお迎えの時間にも間に合うから、ちょうどいいと思いました。(房さん)



Q 日本語教室のことをどう思う？

A ここでは、人とのつながりを持てるし、日本人の先生を通して日本のことを知ることが出来ます。それまで孤独だったけれど、今は一人じゃないと思えます。周りがサポートしてくれるから、間違っても話してみようと思うようになったし、自信を持てるようになりました。情報を得る意味でも大切な場所です。特にここは中国人のスタッフもいるから、リラックスできます。(董さん)



Q 日本語教室に参加して変わったことは？

A 子どもを連れてママ友と一緒に公園に行ったり、授業終わりに食事に行ったり。内向的でなかなか出掛けられずにいたけれど「一緒に行こう」と言える人ができました。先生も家族のように気にかけてくれて、ふるさといろんな感覚を持っています。(房さん)

Q これからやりたいことは？

A 言いたいことを言いたいし、普通にコミュニケーションがとれるようになりたいです。小学校の先生とも、もっとお話がしたいと思っています。(董さん)

「躊躇せずに踏み出して」と伝えたい

日本語教室からさらに一步を踏み出した実体験を聞かせてくれたのはジナさん。インドより来日して約1年。昨年、中区で年に1度開催される「多文化フェスタ」にスタッフとして参加し、インドのことを伝えるブースで活躍しました。

日本語がとても上手ですね！
どこで学びましたか？

日本に来て初めのうちは毎日ずっと家において、退屈で仕方なかった。あるとき日本語教室のことを聞いて、すぐに申し込んだ。今では先生もみんな友だち。公園に行って日本人に話しかけることもある！仕事の話や家族、旅行のこと。あとは、日本人にインド料理を教えて、日本料理を教えてもらうなんてこともしているの。



「多文化フェスタ」にスタッフとして参加されたそうですね

そう、ラウンジの人に誘われたのだけど、とてもよかったと思っている。声をかけてもらったときも、戸惑いは全然なかった。日本人が好きだし、インドのことを紹介したいから。最初は何も分からなくて大変だった。家でもたくさん日本語を練習して、今は漢字も200くらい書けるようになったの。イベント当日は、ヒンディー語で挨拶してくれる日本人もいて驚いたし、とても感銘を受けた。日本人がインドのことを知りたがっていることも分かってよかったと思う。



これからやりたいことは？

日本人と同じように、私も働きたい。今は日本語能力検定試験に挑戦していて、もっと上を目指したいの。いずれは英語の先生になりたいな。

日本語を勉強してよかったと思いますか？

もちろん。日本語が少しずつでもできるようになることで、私の日常がより彩り豊かになった。だから、挑戦することに戸惑っている人には、躊躇しないで言いたい。日本の文化を学べることも含めて、日本語教室は学習をするのにベストな場所。日本語を学ぶことは、いつだって私にとってベストチョイスだと思っているの。

なか国際交流ラウンジ日本語教室コーディネーター・高さんより



授業の内容もですが、生徒との信頼関係を築くことが大事だと考えています。学習者の疑問や不安を根本的に取り除かないと学習も身に入らないので、それぞれの抱える問題にできる限り向き合い、寄り添いたいです。そのために、友だちのつもりで「あ、高さんにちょっと話そう」と話しかけてもらえる関係性を維持するように心がけています。相談できる場所があると思ってもらえると嬉しいですね。最近はお子さんに関する相談をよく受けますよ。

なか国際交流ラウンジ・日本語教室 生徒募集のお知らせ

- 期間：5月12日～10月13日
- 日時：毎週火・木曜日 10:30～12:00（夏休みあり）
- 授業料：6,000円（全30回）

日常生活で役立つ日本語を楽しく学ぶ教室です。レベル別の小グループでレッスンします。まず、グループ分けのためのインタビューを予約してください（10:00～17:00、火・土曜は20時まで。第3日曜休館）。

※原則として中区在住・在勤の16歳以上の日本語初級学習者が対象

【なか国際交流ラウンジ TEL：045-210-0667】

夏祭り 言葉は不安に思わず雰囲気味わってみて

特に気軽に参加しやすいのが夏祭り。食べ物の屋台が出ていたり、盆踊りを踊ったりします。普段着でも、浴衣に挑戦してもOK！日本文化を体験したい人にもおすすめ。



身近な一歩 ～地域の行事～

自治会町内会ではさまざまな行事を開催しています。日本語が話せないと参加できないと思ってしまうがちですが、そんなことはありません。多くの地域で行われている活動を簡単に紹介します。気になるものがあれば、参加してみても？

定期的に地域の人と関わるチャンス 公園清掃

地域の道や公園などは、地域の人みんなで協力してきれいに保ちます。落ち葉を掃いたりポイ捨てされたごみを拾ったりします。回覧板や掲示板で日時が周知されることが大半です。定期的に地域の人と会えるので、言葉がうまく通じなくても、少しずつ顔見知りになれるはず。

目指せ皆勤賞！子どもたちの夏休みの定番行事

ラジオ体操

日本人になじみ深いラジオ体操は、音声案内つきの音楽に合わせて行うもの。夏休みの朝、子どもたちが集まって体操する様子が多くの地域で見られます。親子で参加するのもいいですね。



問合せ先の応答は「英語対応」「中国語対応」と書いていないものは、日本語での対応になります。

■ 犬を飼っている方へ

犬の飼い主には飼い犬について、生涯1回の登録と、年1回の狂犬病予防注射の接種及び接種済みの届出を行うことが法律で義務付けられています。

▶ 飼い犬の登録

犬を飼ったら30日以内(子犬の場合は生後90日を過ぎてから30日以内)に登録を行ってください。登録手数料は1頭3,000円です。登録時に交付される「鑑札」は犬の登録を証明するものです。引越しても移転先の自治体での手続きに使うので、なくさないようにしてください。



▶ 狂犬病予防注射

予防注射は動物病院で受けることができます。注射を受けたら、獣医師が発行する「狂犬病予防注射済票」を持って区役所へ届出てください。狂犬病予防注射済票交付手数料が1頭につき550円かかります。(鑑札と注射済票の交付ができる動物病院もあります。)



<中区役所生活衛生課 TEL: 045-224-8339 >

■ 市営住宅・県営住宅の入居者募集

市営住宅・県営住宅は比較的安い家賃で住める公営住宅です。募集時期に区役所1階総合案内で申込書付きの案内(日本語)を配布します。募集する住宅の内容、応募条件などが載っています。

▶ 市営住宅 4月13日(月)～4月24日(金)

TEL: 045-451-7777

▶ 県営住宅 5月募集予定

TEL: 045-201-3673

※案内が読めない方、申込書を日本語で書けない方は、申込書を持って、かながわ外国人住まいサポートセンター(横浜YMCA2階 TEL: 045-228-1752)へご相談ください。月～金曜10時～17時(英語/火～金曜、中国語/火・水曜、木曜日の午後、そのほかの言語はお問い合わせください)

■ 国民健康保険へ加入している方へ

▶ 特定健康診査の受診券を順次送っています。

40～74歳の人に生活習慣病を早期発見するための検査を受けられる受診券・問診票を送ります。無料なのでぜひ早めに受診してください。受診できる医療機関のリスト(日本語)も同封しているので、予約は自分で直接、医療機関にしてください。母語の通じる医療機関を知りたいときは、なか国際交流ラウンジ(045-210-0667)へご相談ください。

▶ 2020年度国民健康保険料額決定通知書を6月中旬に送ります

1年間分の保険料(4月～翌3月)を計算した保険料額決定通知書を送ります。年10回に分けた納付書が6・7・10・翌1月に送付されるので納期限までに納めてください。支払いは口座振替が便利です。

<中区役所保険年金課 TEL: 045-224-8315 >

■ 児童手当の現況届の提出は6/30まで

毎年、6月1日の状況を確認するために、児童手当受給者の方に現況届をご提出いただいております。現況届の提出がない場合は、6月以降の手当を受給することができなくなる可能性があります。必ずご提出ください。書類は6月上旬に郵送でお送りします(日本語)。

<中区役所子ども家庭支援課

TEL: 045-224-8198 >

ごみは捨てるときに分別を!

ごみの分類がわからないときは品名から検索できます



ごみの分別方法はコチラ

シリーズ「自治会町内会」

～自治会町内会の活動や役割を紹介します

日本では、多くの地域に「自治会町内会」があります

自治会町内会は、隣近所の人で構成される地域の住民組織です。近所の人同士知り合いになり、いざというとき助け合えるよう、また、安心して暮らせる住みよいまちをつくるために、みんなで自主的に活動しています。住民は会費を払うなどして参加します。外国人の皆さんも同じ住民として、ぜひ、自治会町内会にお入りください。地域の知合いが増えると、日本での暮らしがもっともっと楽しくなりますよ。入り方については近所の人に聞いてみましょう。言葉が分からない人はなか国際交流ラウンジ(045-210-0667)まで。



<中区役所地域振興課

TEL: 045-224-8131 >

中区役所多言語ホームページ

英語・中国語・韓国語・やさしい日本語で行政サービスやイベントの情報を発信。毎月更新。



市・県民税(第2期分)の納期限は8月31日(月)です

市・県民税の納税通知書が届いた方は、この日までに第2期分の税金をコンビニ(バーコード付きの納付書のみ)、銀行などで納めてください。口座振替の手続きをしていただくと便利です(この手続きには時間がかかります)。

国際サービス員 区役所2階23窓口
(中国語)8:45～15:45 (英語)10:00～17:00

区役所業務の案内、窓口での通訳、諸証明を取るときの申請書の記載サポートなどを行います。日本語での手続きが不安な方は、声をかけてください。

これがわからない!

Q&A



「地域防災拠点」とはどんなところですか。

⇒震度5強以上の地震が発生した場合に近所の小中学校に地域防災拠点(避難所)が開設されます。自宅の倒壊や火災によって住めなくなった場合に一時的に地域の人たちと協力しながら共同生活をする場所です。

地域防災拠点(避難所)での避難生活で大切なことは?

地域防災拠点での避難生活は、地域住民が中心となって組織する運営委員会が運営します。しかし、円滑な避難所運営のためには、避難者も運営に協力していくことがとても大切です。

～避難生活での水・食料～

地域防災拠点に備蓄してある水・食料は、火災等により家庭内備蓄食料を持ち出せない人のための最低限の備蓄品です。そのため、各家庭に必要な備蓄をしておかなければいけません。避難するときには備蓄品を必ず持参しましょう。

～地域防災拠点訓練～

1年に1回行われ、共同生活のルールなどを地域の人々で確認をする訓練です。

●いざというときに備えて●

災害時に近所の人と協力できるように、日ごろから挨拶をしたりして顔の見える関係づくりをすることが大切です。



日本での災害予防についてもっと知りたい人は!(多言語版)



英語版



中国語版





ちょっと出かけて
みませんか

ランニングをしてみよう!

港の風を感じながら
ランニングを楽しもう!

今年の夏、待ちに待った東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。中区でも横浜スタジアムが野球やソフトボールの会場となります。この機会にもっともっとスポーツを楽しみましょう。今回は港を感じる町並みを見ながら楽しめるランニングコースを紹介します!



山下公園

春から夏にかけてバラなど色とりどりの花が咲き誇ります



象の鼻パーク

公園内の象の鼻カフェで休憩も!



さくら通り

桜並木でのランは爽快



夜景も楽しめるコース
ナイトランにもおすすめ!

中区に暮らす外国人が発見 日本の暮らしと文化

日本の生活に慣れるには



初めて来日した時、どうすれば早く日本の生活に慣れるのかについて、多くの外国人が悩んでいると思います。私にも最初このような悩みがありました。

私の娘は2歳の時に来日しました。初めて娘と外出した日のことを私は今も忘れられません。その日、娘と一緒に家の近くにある子どもが遊べる施設に行きました。絵本や玩具、子どもと遊んでくれるスタッフもいました。活発な娘はこの場所を気に入ってくれると信じていましたが、施設に入ると彫像のように固まり、不安そうにしていました。初めて日本語だけの環境に入ったことで緊張し、すぐには慣れなかったのです。娘の様子を見た私はとても胸が痛くなりました。

この後、娘に早く日本の生活に慣れてほしいと思い、私はできるかぎり娘を外に連れて出掛けました。家の近くの公園や遊べる施設、幼稚園の開放日等です。そうしていくうちに娘は少しずつ慣れてきて、日本での生活を楽しめるようになりました。息子も小学校の頃に引っ越し、新しい環境に慣れず友達がいなかった時期がありましたが、積極的に公園へ行くと、友達ができました。不安かもしれないけど、積極的に外に出ると早く生活に慣れると思いますよ。来日して、もし環境に慣れないなど悩みがあれば、なか国際交流ラウンジに相談してみてくださいね。

(なか国際交流ラウンジ中国語スタッフ)

知ってほしい! 日本の文化

季節の行事や、衣・食・住に関する日本の文化などを紹介します

“端午の節句”

端午の節句は5月5日にあたり、昔は病気や災いをさけるための行事でした。その行事のために使っていた「菖蒲(しょうぶ)」が武士の言葉や道具に似ていることから、次第に男の子の誕生と健やかな成長を祝うお祝いに代わっていきました。

現在は「こどもの日」として祝日となり、広く親しまれています。「こどもの日」には、^{かぶと}兜やこいのぼりを飾り、お祝いをします。



<多言語広報紙配布先を募集しています> 外国人の集まるお店や病院、機関など、ご希望があればお届けします。次号は7月1日(水)発行です